

1. タイに渡航後、子どもを含む家族で隔離（ASQ、代替隔離措置）中に、一人でも陽性となった場合の入院はどのようにになりますか？

当院での入院の原則を下記表からご覧ください。ただしこのルールはお子さんの年齢や症状によって現場判断で変更される場合もあります。

親子ともに陽性であれば同室で入院できます。しかし、お子さんがまだ感染していない可能性が少しでもあれば、陽性の親御さんとは別室（別病棟）で観察入院を原則とします。その場合、付き添いのベビーシッターを依頼していただくこととなります（当院で手配可能）。

ご家族全員が陽性		1. 親子同室可能
両親陽性	こども陽性と陰性	2. 陽性のお子さんは同室可能、陰性のお子さんは3と同じ
両親陽性	こども全員陰性	3. お子さんは濃厚接触者として別室入院
片方の親陽性	こども全員陽性	4. 陽性同士、陰性同士で同室可
	こども陽性と陰性	
	こども全員陰性	
両親陰性	こども全員陽性	5. 陽性のお子さんと陰性のご家族は別室
	こども陽性と陰性	

2. 上記のように、隔離中に陽性となり途中から病院に治療・経過観察となった場合、その後の隔離は何日間？どこで？でしょうか。

隔離中の PCR 検査結果が陽性になった場合、陽性者本人は提携先の病院に入院し、治療・経過観察となるのはご存知かと思います。発症から 14 日間はこの病院での隔離期間が必要、と 4 月 8 日に改訂公開されたタイ国保健省のガイドラインに記載されています。同ガイドラインでは退院後、発症から 1 か月経つまでは自宅内生活をすること、マスク着用やソーシャルディスタンスを保つなどの感染対策には細心の注意を払うことも推奨されています。なお、経過次第では、主治医の判断により入院期間の変更や退院後の自宅内生活が指示される可能性があります。